

# くずし字に挑戦

## —『源氏物語』を読む—

平安時代を通じて公的な場面では漢字が用いられました。その一方で、漢字をくずして作られた「かな」による表現も盛んに行われるようになりました。かな文学の最高峰と言われる『源氏物語』の成立には、この「かな」の普及が深くかかわっています。今回の講座では、くずし字で桐壺巻を読みすすめ、『源氏物語』の肝どころを学びます。

- ◆ 日 時：平成 29 年 2 月 4 日・2 月 18 日・3 月 4 日  
土曜日 10:30～12:00
- ◆ 会 場：県立広島大学広島キャンパス（広島市南区宇品東 1-1-71）
- ◆ 講 師：人間文化学部 国際文化学科 教授 西本 寮子
- ◆ 対 象：どなたでも
- ◆ 受 講 料：1,000 円（テキスト代別）
- ◆ 募集人数：30 名
- ◆ 申込方法：①郵便番号，②住所，③名前（ふりがな），④電話番号を記入した用紙（様式自由）と，⑤82 円切手を貼り申込者の住所・名前を記入した返信用封筒を，平成 29 年 1 月 19 日（木）（消印有効）までに下の申込先にお送りください。申込締切日以降に受講案内と受講料振込案内をお届けします。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は，県立広島大学公開講座以外の目的には使用しません。

- ◆ 申込・問合せ先：  
〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71  
県立広島大学地域連携センター  
「源氏講座」係  
電話 082-251-9534（平日 9:15～18:00）
- ◆ 主 催：県立広島大学地域連携センター

